

CLIPPEDIMAGE= JP354082424A

PAT-NO: JP354082424A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 54082424 A

TITLE: PRELIMINARY STARTING OF DRAW-WINDER

PUBN-DATE: June 30, 1979

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NISHIHIRA, SUSUMU

MURAKAMI, RYUICHI

BOSU, KOICHIRO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

UNITIKA LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP52147456

APPL-DATE: December 7, 1977

INT-CL (IPC): D02J001/22

ABSTRACT:

PURPOSE: To eliminate the labor of cutting and removing of defective yarns at each spinning position, by winding yarns from two or more drawing positions onto one position at the time of preliminary starting of a draw-winder.

CONSTITUTION: In preliminary starting a draw-winder, a plurality of drawing positions are operated in a short time and stopped, and yarns are rethreaded to positions of yarn breakage before starting. Yarns from two or more positions are doubled and led to one position and wound onto a waste spool or bobbin of the position. After stopping the draw-winder, the waste spool or bobbin is

exchanged, and the yarns are wound for each position.

COPYRIGHT: (C)1979,JPO&Japio

⑫公開特許公報 (A)

昭54—82424

⑪Int. Cl.²
D 02 J 1/22識別記号 ⑫日本分類
42 A 423庁内整理番号 ⑬公開 昭和54年(1979)6月30日
7211—4L発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭延伸巻取機のプロスタート方法

⑯発明者 村上隆一

宇治市宇治妙楽86

⑰特 願 昭52—147456

同 望主好一郎

⑱出 願 昭52(1977)12月7日

宇治市広野町小根尾137—5

⑲発明者 西平晋

⑳出願人 ユニチカ株式会社

城陽市寺田深谷48—23

尼崎市東本町1丁目50番地

明 細 書

1. 発明の名称

延伸巻取機のプロスタート方法

2. 特許請求の範囲

(1) 延伸巻取機において一斉スタートに先だつてプロスタートを行なうに際し、2 巻以上の延伸巻の糸条を1 巻に集めて引き取ることを特徴とする延伸巻取機のプロスタート方法。

3. 発明の詳細な説明

本発明は延伸巻取機において一斉スタートに先だつて行なうプロスタートの方法、さらに詳しくはプロスタートの際の糸条の巻取方法に関する。

延伸巻取機にて得られるパッケージ上に巻き取られた糸条の糸長を統一する事を目的として延伸巻取機の全巻一斉スタートを行なう事は公知である。また、一斉スタート時の糸切れ率の減少を目的として、一斉スタートに先だつて延伸巻取機を短時間運転して停止させ糸切れ巻には再び糸掛けを行なつて後一斉スタートする方法。すなわちプ

ロスタート方法を行なう事も公知である。このプロスタートの間に巻き取られる糸条は不正糸条としてウエストスプールに巻き取る事が一般的である。

ところが、近年特にダイヤコード用原糸等において太デニール化かつ高速化が進められており、プロスタートの間の糸条を従来のごとくウエストスプール上に巻き取るとウエストスプール上の糸条が大きいために一斉スタートの前にウエストスプールを交換するかあるいはウエストスプール上の糸条を切断除去しなければならず、このための作業時間が長くなる。

本発明の目的とするところは、前記欠点を取り除く事にあり、すなわちプロスタートの間に巻き取られた糸条を容易に取り除き一斉スタートまでの時間を短縮する方法を提供する事にある。

すなわち、本発明は延伸巻取機において一斉スタートに先だつてプロスタートを行なうに際し、2 巻以上の延伸巻の糸条を1 巻に集めて引き取ることを特徴とする延伸巻取機のプロスタート方法

である。

本発明は、プレスタートの間に巻き取られた糸条を除去する延伸鉋の鉋数を減少させることにより、プレスタート終了後一斉スタートまでの時間を短縮することができるようにしたものであり、最終ドロローフまで正常な糸道に糸掛された2鉋以上の糸条を合糸して1個の延伸鉋に集約しプレスタートの間の糸条を引き取るようにしたものである。

各鉋から集められて1鉋に引き取る糸条はその鉋のウエストスプールあるいはボビンに巻き取り延伸巻取機停止後にウエストスプールあるいはボビンを交換し、ついで糸条を各延伸鉋巻取部に糸掛すればよい。なお、プレスタートの間にボビン上に巻き取られる糸条は不正糸条であつてもよくしたがつてウエスト巻の時間は一斉スタートの際よりも短くする事が望ましい。また、各鉋から集められた糸条を1鉋に巻き取るに際し、ウエストスプールのみに巻き取ることができる場合にはウエストスプールのみに巻き取つても良い。

- 3 -

第1表の結果からあきらかなように、本発明方法によりプレスタート終了後一斉スタートまでの作業時間を大幅に短縮する事ができた。

特許出願人 ユニチカ株式会社

また、巻き取り量が多い場合にはボビンに巻き取る。

以下、実施例にもとづいて本発明の効果を説明する。

実施例

ナイロン6糸延伸糸（延伸後の銘柄 1260 デニール / 210 フィラメント）を糸速 500 m/分にて延伸しつつ巻き取る延伸機のプレスタートにおいてプレスタート終了後一斉スタートまでの間の作業時間を従来法と本発明法において比較しその結果を第1表に示した。ただし、延伸巻取機1台の延伸鉋数は72であり作業時間は作業員1名にて延伸巻取機1台についての作業時間である。また、プレスタートの時間は20秒であり、延伸鉋1鉋当りのプレスタートの間に巻き取られる糸量は約10gである。この時の加速度は20 m/sec²であつた。

第1表

実 験 法	巻取鉋1鉋当りの延伸鉋	作業時間
1 (従来法)	1	42分
2 (本発明法)	2	24分
3 (本発明法)	4	15分

- 4 -